

(2) 平成24年度に発表等を行った文献の目録

01 育種一般及び育種計画

011 総説

1. 藤澤 義武：第四章 6. 林木育種の実際，森林遺伝育種学(文永堂出版)：199-220:38-40, 12, 2012
2. 藤澤 義武：林木の育種成果シリーズの終了にあたって，林木の育種 246:32-33, 3, 2013
3. 藤澤 義武：平成24年度に開発した新品種，林木育種情報 12:2-3, 3, 2012
4. 藤澤 義武・板鼻直栄・久保田正裕 他：東北地方等におけるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種の開発，森林総合研究所研究成果選集（平成24年版）：50-51, 9, 2012
5. 藤澤 義武・平岡 裕一郎：下刈り省略でも育つスギ品種の選抜，低コスト再造林の実用化に向けた研究成果集（森林総合研究所）：34-35, 3, 2013
6. 星 比呂志：ジーンバンク，森林遺伝育種学（文永堂出版）：220～234, 12, 2012
7. 久保田 正裕：林木育種の統計学，森林遺伝育種学（文永堂出版）：188-199, 12, 2012
8. 山口 和穂：私と精英樹，関西育種場だより 70:5, 3, 2013
9. 織部 雄一郎：平成23年度東北育種基本区における新品種の開発，東北の林木育種 201:6-7, 6, 2012

012 育種計画

1. 星 比呂志・倉本 哲嗣：エリートツリーにより期待される施業の効率化，低コスト造林・育林技術最前線（全林協）：132-140, 2, 2013
2. 星 比呂志・倉本 哲嗣：エリートツリーにより期待される施業の効率化，現代林業9月号：31-35, 9, 2012
3. 星 比呂志・倉本 哲嗣：精英樹の次世代化の取り組みについて，北海道の林木育種 55:5-7, 2, 2013
4. 河合 慶恵：初期成長等に優れた無花粉スギ品種の開発について，関西育種場だより 68:4, 7, 2012

02 遺伝，育種及び変異

021 選抜

1. 平岡 裕一郎：【第12回林木育種研究奨励賞を受賞して】ハゼノキの品種改良に向けた分子生物学及び統計遺伝学的基盤研究，林木の育種 245:16, 10, 2012
2. 渡辺 敦史（九大農）・平岡 裕一郎・花岡 創・田端 雅進：SSR マーカーを用いたウルシ実生林分の家系構造の解明と優良形質系統の選抜，日本森林学会大会学術講演集 124:177, 3, 2013
3. 渡辺 敦史（九大農）・平岡 裕一郎：優良系統の選抜，森林総合研究所編「ウルシの健全な森林を育て、良質な漆を生産する」：5, 9, 2012
4. 渡辺 敦史（九州大学）・花岡 創・田端 雅進・平岡 裕一郎：SSR マーカーを用いたウルシ実生林分の家系構造の解明と優良形質系統の選抜，日本森林学会大会講演要旨集 124:G18, 2, 2013
5. 井城 泰一、平岡 裕一郎、渡辺 敦史（九大農）：4年生精英樹さし木クローンを用いた早期

- 選抜の検討, 森林遺伝育種学会大会講演要旨 1 : 25 番, 11, 2012
6. 三嶋 賢太郎・井城 泰一・藤原 健・黒田 克史・渡辺 敦史 (九大農) : スギ早期選抜に向けた EST 情報の収集と網羅的発現解析, 日本森林学会大会講演要旨集 124 : L04, 3, 2012
 7. 加藤 一隆・今野 敏彦・尾坂 尚紀・花岡 創 : 防風効果の高いテリハボクの選抜育種研究, 亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集 (平成 24 年度) : 23-27, 3, 2013
 8. 来田 和人 (道総研林業試験場)・田村 明・今 博計 (道総研林業試験場)・秋元 正信 (道総研林業試験場)・生方 正俊・黒丸 亮 (道総研林業試験場) : 第 2 世代グイマツ精鋭樹の選抜, 北海道の林木育種 55(2) : 30-33, 2, 2013
 9. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・阿部 正信・竹田 宣明・上田 雄介・来田 和人 (道総研林業試験場)・今 博計 (道総研林業試験場) : 北海道育種基本区における第 2 世代精英樹候補木の選抜ー平成 23 年度の実施結果ー, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 26-30, 11, 2012
 10. 田村 明 : 第二世代精英樹の選抜を開始, 野幌の丘から 179 : 2, 10, 2012
 11. 矢野 慶介・福田 陽子・田村 明・山田 浩雄・織田 春紀・小園 勝利・阿部 正信・生方 正俊・那須 仁弥・高倉 康造 (元林木育種センター北海道育種場) : バイオマス生産品種開発を目的としたオノエヤナギおよびエゾノキヌヤナギの選抜, 森林総合研究所林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 44-47, 11, 2012
 12. 矢野 慶介 : バイオマス生産に適したヤナギの選抜状況, 野幌の丘から 180 : 1, 3, 2013
 13. 大宮 泰徳・斎藤 秀之 (北海道大学)・上村 松生 (岩手大学)・赤田 辰治 (弘前大学) : ブナの着花特性と FcC0 遺伝子の機能解析, 日本木材学会要旨集 63 : 120, 3, 2013
 14. 三浦 真弘・平岡 裕一郎・小野 雅子・宮下 久哉・星 比呂志 : 関東育種基本区における育種集団林からの第二世代精英樹候補木の選抜, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 22-25, 11, 2012
 15. 玉城 聡・古本 良・織部 雄一郎・板鼻 直榮・佐藤 亜樹彦・千葉 信隆・笠井 史宏 (林野庁)・瀧川 英久・黒沼 幸樹・今野 敏彦・佐々木 清和 : 東北育種基本区におけるスギ第二世代精英樹候補木の選抜ー平成 23 年度の実施結果ー, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 31-34, 11, 2012
 16. 玉城 聡 : 東北育種場におけるエリートツリー (スギ第二世代精英樹) の選抜, 東北の林木育種 200 : 2-3, 10, 2012
 17. 山口 和穂 : ヒノキ実生検定林におけるピロディン貫入値の調査, 応用森林学会大会研究発表要旨集 63 : 45, 10, 2012
 18. 山口 和穂 : ピロディン貫入値に対する気象要因の影響, 日本木材学会大会研究発表要旨集 63 : 19, 3, 2013
 19. 山口 和穂 : 木に幹に蓄積されている二酸化炭素の量を推定する, 関西育種場だより 69 : 1, 11, 2012
 20. 山口 和穂・久保田 正裕・岡村 政則・山田 浩雄・小園 勝利・玉城 聡・大久保 典久・菊池 佳行 : 関西育種基本区における材質優良スギ品種の開発, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 15-18, 11, 2012
 21. 久保田 正裕 : エリートツリーの選抜と原種の配布, 関西育種場だより 68 : 3, 7, 2012
 22. 久保田 正裕・磯田 圭哉・澤村 高至・増山 真美 (林野庁)・山口 和穂・岩泉 正和・祐延 邦資・園田 茂・林 勝洋・坂本 庄生 : 関西育種基本区におけるヒノキ第二世代精英樹候補

- 木の選抜－西山大 27 号，山育 14 号，西大阪局 25 号，西大阪局 26 号における実行結果－，
林木育種センター年報（平成 24 年版）：35－38，11，2012
23. 久保田正裕：精英樹からエリートツリーへ－近畿中国森林管理局管内における取り組み－，
森林・林業交流研究発表集録（平成 24 年版）：130-132、3，2013
24. 高橋 誠：次世代育種集団の構造が相加的遺伝分散や近交弱勢に及ぼす影響について，日本森
林学会大会 124：P2-019，3，2013
25. 高橋 誠：第 2 世代のマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの開発，林木育種成果発表会，1，
2013
26. 高橋 誠：平成 24 年度の林木育種にかかる事業・研究の取り組みについて，九州育種場だ
より 25：4-5，7，2012
27. 高橋 誠：成長の優れたスギ系統の成長パターンの解明，九州育種場だより 26：3、1，2013
28. 宮崎 潤二（佐賀県林業試験場）・挽地 あい子（佐賀県林業試験場）・小部 弥太郎（佐賀県
林業試験場）・宮里 学（鹿児島県森林技術総合センター）・古澤 英生（宮崎県林業技術セ
ンター）・佐藤 嘉彦（大分県農林水産研究指導センター林業研究部）・高橋 誠・武津 英
太郎・千吉良 治・渡辺 敦史（九州大学）：佐賀県での第二世代スギ精英樹選抜の取り組み，
日本森林学会大会 124：P2-012，3，2013
29. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・高橋 誠：スギ次世代選抜における個体育
種価と若年後代集団から推定された育種価の比較，日本森林学会大会 124：215，3，2013
29. 武津 英太郎・松永 孝治・湯浅 真・倉原 雄二・千吉良 治・高橋 誠・松永 順・一高 一任：
九州育種基本区におけるスギ第二世代精英樹候補木の選抜－九熊本第 113 号・114 号・115
号からの選抜－，林木育種センター年報（平成 24 年版）：39－43，11，2012
31. 千吉良 治，エリートツリー開発までの道のりと現状，森林流域管理システム推進発表大会特
別講演，10，2012
32. 千吉良 治：九州の林業関係者にエリートツリーをアピール，九州育種場だより 26：5、1，
2013

022 交雑（技術，交雑プロジェクト等を含む）

1. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・阿部 正信・竹田 宣明・大城 浩司・佐々木 洋
一・上田 雄介・織田 春紀・羽原 陽子・田邊 純（宇都宮大学）・石栗 太（宇都宮大学）：
雑種（アカエゾマツ×ヨーロッパトウヒ）の幼齢期における諸特性－開花、種子の稔性およ
び材質について－，北方森林研究 61：67-70，2，2013

023 変異（系統分類，倍数体を含む）

1. 花岡 創・Ching-Te Chien(Taiwan Forestry Research Institute)・Shun-Ying Chen(Taiwan
Forestry Research Institute)・渡辺敦史（九州大学）・加藤一隆：海流散布植物テリハボ
クの分布北限域島嶼集団における遺伝的多様性と遺伝子流動規模の推定，日本生態学会大会
講演要旨集 60：P2-046，3，2013
2. 花岡 創・三浦 真弘・平岡 裕一郎・渡辺 敦史（九州大学）：GIS を利用したスギ生育に関
する気象条件の検討，日本森林学会大会学術講演集 124：P2-011，3，2013
3. 生方 正俊・田村 明・阿部 正信・上田 雄介・山田 浩雄，北海道におけるエゾマツの種子発
芽タイミングの地理的変異，日本生態学会大会講演要旨集 60：80，3，2013

4. Tomomi Kaku (大阪大学)・Kei'ichi Baba (、京都大学)・Toru Taniguchi・Manabu Kurita・Ken-ichi Konagaya・Katsuaki Ishii・Teiji Kondo・Satoshi Serada・Haruka Iizuka (東京農大)・Rumi Kaida (東京農大)・Teruaki Taji・Yoichi Sakata・Takahisa Hayashi (東京農大) : Analyses of leaves from open field-grown transgenic poplars overexpressing xyloglucanase. (キシログルカナナーゼを高発現させた野外植栽した組換えポプラの葉の分析), Journal of Wood Science58(4) : 281-289, 8, 2012
5. Toru Taniguchi・Ken-ichi Konagaya・Manabu Kurita・Naoki Takata・Katsuaki Ishii・Teiji Kondo・Fumiaki Funahashi (京都大学)・Seiichi Ohta・Tomomi Kaku (大阪大学)・Kei'ichi Baba (京都大学)・Rumi Kaida (東京農大)・Takahisa Hayashi (東京農大) : Growth and root sucker ability of field-grown transgenic poplars overexpressing xyloglucanase. (キシログルカナナーゼを過剰発現させたポプラの野外における成長と根萌芽発生), Journal of Wood Science58 : 550-556, 11・2012
6. 谷口 亨・小長谷 賢一 : スギの形質転換プロトコール, 形質転換プロトコール (田部井豊編、化学同人) : 286-293, 9, 2012
7. 谷口 亨 : ハゼノキの在来品種, 優良候補個体およびアジア大陸と沖縄島の自生個体における葉緑体ハプロタイプの比較, 形質転換プロトコール (田部井豊編、化学同人) : 280-285, 8, 2012
8. 谷口 亨・栗田 学・小長谷 賢一・高田 直樹・平岡 裕一郎・石井 克明・近藤 禎二・舟橋史晃 (京都大学)・太田 誠一・檜村 友子・于翔・菊池 彰・渡邊 和男・馬場 啓一 (京都大学)・林 隆久 (東京農大) : キシログルカナナーゼを過剰発現させた遺伝子組換えポプラの野外栽培試験 : 成長量と根萌芽発生数及び土壌のモニタリング, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集1 : 42, 11, 2012
9. 海田 るみ (東京農大)・宮崎 尚之 (産総研)・矢追 克郎・谷口 亨・馬場 啓一 (京都大学)・坂田 洋一 (東京農大)・林 隆久 (東京農大) : ポプラ木部におけるキシログルカンの分子機構, 木材学会 63 : A27-01-1415, 3, 2013
10. 谷口 亨・栗田 学・小長谷 賢一・林 隆久・檜村 友子・于翔・菊池 彰・渡邊 和男 : 遺伝子組換えポプラを栽培した土壌のモニタリング調査, 筑波大学遺伝子実験センター形質転換植物デザイン研究拠点平成 23 年度成果報告会講演要旨 : 20-21, 7, 2012
11. 谷口 亨 : バイオテクノロジーによるスギの無花粉化に向けた取組み, 平成 24 年度林木育種成果発表会, 1, 2013
12. 谷口 亨 : 遺伝子組換えによるスギの雄性不稔化の研究 : Science Academy of Tsukuba23 : 22-23, 3, 2013
13. 石井 克明・丸山 エミリオ 毅・佐々木 佳菜子 (京都大学)・矢崎 一史 (京都大学) : イソプレレン合成酵素遺伝子の樹木への導入, 森林遺伝育種 2 : 9-12, 1, 2013
14. Takata Naoki・Maria E. Eriksson (Umeå Plant Science Centre) : A simple and efficient transient transformation for hybrid aspen (*Populus tremula* × *P. tremuloides*). (ポプラの高効率一過的形質転換法の開発), Plant Methods8(1) : 30, 8, 2012
15. Ramesh Thakur (ミシガン大学)・Katsuaki Ishii : Detection and fingerprinting of narrow-leaf mutants in micropropagated hybrid poplar (*Populus sieboldii* × *P. grandidentata*) using random amplified polymorphic DNA. (雑種ポプラの細葉変異の RAPD による検出), International Journal of Farm Science2 : 79-84, 4, 2012

16. Yoshihiko Nanasato (生物研)・Ken-ichi Konagaya、Ayako Okuzaki (生物研)・Mai Tsuda (生物研)・Yutaka Tabei (生物研) :Improvement of Agrobacterium-mediated transformation of cucumber (*Cucumis sativus* L.) by combination of vacuum infiltration and co-cultivation on filter paper wicks. (減圧浸潤とペーパーウィック上での共存培養の組み合わせによるアグロバクテリウムを用いたキュウリ形質転換系の改良), Plant Biotechnology Reports、DOI:10.1007/s11816-012-0260-1, 9, 2012
17. Ishii K.・Kawaoka A. (日本製紙)・Taniguchi T : GMO safety assessment-feasibility of bioassay to detect allelopathy using handy sandwich method in transgenic plants (GMO 安全査定ー遺伝子組換え植物での簡便サンドウィッチ法によるアレロパシー検出の可能性), Transgenic Plants Advances and Limitations : 469-478, 4, 2012
18. 小長谷 賢一・田部井 豊 : ハクサイ・ブロッコリーの形質転換プロトコール, 形質転換プロトコール (田部井豊編、化学同人) : 183-190, 9, 2012
19. 石井 克明・丸山 エミリオ・佐々木 佳菜子 (京都大学)・矢崎 一史 (京都大学) : イソプレレン合成酵素遺伝子のセイヨウハコヤナギへの導入, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1 : 6, 11, 2012
20. 小長谷 賢一・栗田 学・谷口 亨・石井 克明 : 雄性不稔化に向けた遺伝子組換えスギの作製, 日本植物細胞分子生物学会 (生駒) 大会・シンポジウム講演要旨集 30 : 173, 8, 2012
21. 小長谷 賢一・栗田 学・谷口 亨・石井 克明 : 森林遺伝育種学会講演要旨集 1 : 44, 11, 2012
22. 小長谷 賢一・栗田 学・谷口 亨・石井 克明 : 森林学会大会 124 : F25, 3, 2013
23. Hirao T・Watanabe A : Comparison of gene expression profiles between resistance and susceptibility in *Pinus thunbergii* to pine wood nematode infection. (クロマツノザイセンチュウ感染での抵抗性と感受性の遺伝子発現の比較), IUFRO Working Unit 7.03.12 “Alien invasive species and international trade”, 6, 2012
24. Takata Naoki・Taniguchi Toru : Functional divergence of secondary cell wall-associated CELLULOSE SYNTHASEs (CesAs) after a polyploidy event in *Populus* species. (二次壁合成に関与するセルロース合成酵素の機能分化), Plant Biology Congress Freiburg, 7, 2012
25. Takata Naoki・Yokota Kiyonobu (金沢先進医学センター)・Ohki Shinya (北陸先端大学)・Mori Masashi (石川県立大学)・Taniguchi Toru・Kurita Manabu : Molecular Phylogeny and Structural Divergence of the EPF/EPFL Gene Family. (EPF/EPFL 遺伝子ファミリーの系統発生と構造分岐), 日本植物生理学会 54 : 322, 3, 2013
26. 高田 直樹・谷口 亨 : 全ゲノム重複後の重複遺伝子対の発現変化ーポプラ・セルロース合成酵素の機能分化ー, 日本木材学会 63 : 8, 3, 2013
27. 坂本 友陽 (北海道大学)・安達 正博 (北海道大学)・岡田 香織 (北海道大学)・鈴木 伸吾 (北海道大学)・宇梶 慎子 (北海道大学)・荒川 圭太 (北海道大学)・高田 直樹 : カラマツ木部における冬季誘導性のデハイドリンの機能評価, 日本木材学会 63 : 120, 3, 2013
28. 福田 陽子・宮本 尚子・那須 仁弥・大谷 雅人・田村 明・山田 浩雄・矢野 慶介 : アオダモ類の形態及び DNA 塩基配列における変異, 日本森林学会大会学術講演集 124 : 233, 3, 2013
29. 福田 陽子・田村 明・矢野 慶介・山田 浩雄・渡邊 敦史 : アカエゾマツとヨーロッパトウヒを識別するための葉緑体 DNA の SNP マーカーの開発, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 62-64, 11, 2012
30. 玉城 聡・栗延 晋 : 花粉の少ないスギ品種をクローンおよび実生で普及した場合における雄

化減少量の予測, 森林総合研究所研究報告 11(4) : 197-205, 12, 2012

31. Eitaro Fukatsu・Atsushi Watanabe (九州大学)・RYOGO NAKADA・Keiya Isoda・Tomonori Hirao・Masatoshi Ubukata・Yasuhiro Koyama (長野県林業総合センター)・Jiro Kodani (石川県林業試験場)・Maki Saito (富山県林業技術センター)・Naoko Miyamoto・Makoto Takahashi : Phylogeographical structure in *Zelkova serrata* in Japan and phylogeny in the genus *Zelkova* using the polymorphisms of chloroplast DNA. (葉緑体 DNA 多型に基づいた日本におけるケヤキの系統地理学的構造及びケヤキ属の系統解析), Conservation Genetics 13(4) : 1109-1118, 8, 2012

0 3 樹種, 品種の選択と植栽試験

0 3 1 次代検定 (育種効果を含む)

1. 平岡 裕一郎・三浦 真弘・井城 泰一・渡辺 敦史 : スギ次世代育種集団の構想, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1 : 26, 11, 2012
2. 平岡 裕一郎・井城 泰一・三浦 真弘・渡辺 敦史 : スギ精英樹の次世代化に向けた F1 試験地における遺伝解析, 日本森林学会大会学術講演集 124 : 217, 3, 2013
3. 三浦 真弘・平岡 裕一郎・大平 峰子・宮下 久哉・星 比呂志・倉本 哲嗣・藤澤 義武・山田 浩雄・田村 明・板鼻 直栄・山野邊 太郎・玉城 聡・久保田 正裕・磯田 圭哉・高橋 誠・千吉良 治・武津 英太郎・近藤 禎二 : スギ次代検定林調査より得られた成長形質の遺伝解析, 日本森林学会大会学術講演集 124 : 217, 3, 2013
4. 久保田 正裕 : 異なる育種区におけるヒノキ精英樹家系の樹高成長の違いー日本海東部, 日本海西部育種区における事例ー, 応用森林学会研究発表会要旨集 63 : 44, 10, 2012
5. 久保田 正裕・澤村 高至 : 関西育種基本区におけるヒノキ第 2 世代精英樹選抜に向けた育種集団林データの解析 : 日本森林学会大会講演集 124 : 216, 3, 2013
6. 河合 慶恵・山口 和穂・澤村 高至・久保田 正裕・磯田 圭哉・岩泉 正和 : スギ挿し木苗と実生苗の気象要因に対する成長反応の比較, 応用森林学会大会研究発表要旨集 63 : 43, 10, 2012
7. 久保田 正裕 : 設定から 40 年が経過した「山育第 13 号参考林」の現況, 関西の林木育種 9 : 1-2, 11, 2012
8. 古澤 英生 (宮崎県林技セ)・武津英太郎 : 精英樹人工交配苗を用いたスギ品種改良試験地からの優良個体の選抜について (Ⅲ), 九州森林研究 66 : 90-93, 3, 2013
9. 佐藤 嘉彦 (大分県農林水産研究指導センター林業試験場)・津島 俊治 (大分県農林水産研究指導センター林業試験場)・武津 英太郎・高橋 誠 : 植栽密度試験地に植栽されたスギ在来品種の成長パラメータの比較ー成長パラメータに対するクローンと植栽密度の影響, 日本森林学会大会 124 : 216, 3, 2013

0 3 2 試植検定林

0 3 3 産地試験

1. 那須 仁弥 : ミズナラ産地別試験地の成長経過における産地および家系の効果の推定ー経時データに対する多項式と非線形式のあてはめの比較ー, 森林遺伝育種学会大会講演要旨 1 : 49, 11, 2012

04 採種園，結実促進，その他有性繁殖

041 採種園関係

042 着花促進，種子生産性等

1. Miyoko Tsubomura・Eitaro Fukatsu・Ryogo Nakada・Yoko Fukuda：カ Inheritance of male flower production in *Cryptomeria japonica* (sugi) estimated from analysis of a diallel mating test. (ダイアル交配試験より推定された雄花着花量の遺伝性), *Annals of Forest Science* 69: 867-875, 6, 2012
2. 栗田 学・坪村 美代子・小長谷 賢一・平尾 知士・谷口 亨・渡辺 敦史(九州大学)：スギの雄花形成過程における網羅的な遺伝子の発現解析，日本植物細胞分子生物学会(生駒)大会・シンポジウム講演要旨集 30:118, 8, 2012
3. 山田 浩雄・田村 明・福田 陽子・矢野 慶介・阿部 正信・大城 浩司：北方針葉樹の採種園における着果母樹の出現状況と豊凶判断，*北方森林研究* 61: 59-61, 2, 2013
4. 福田 陽子・生方 正俊：緯度の異なる生育地でのカラマツの花芽形成過程の比較，*北方森林学会講演集*, 61, 11, 2012
5. 来田 和人(道総研林業試験場)・内山 和子(道総研林業試験場)・今 博計(道総研林業試験場)・黒丸 亮(道総研林業試験場)・田村 明・織田 春紀：カラマツ類のつぎ木ポット苗による着花促進効果と種子生産，*日本森林学会大会講演要旨集* 124: F31、174, 3, 2013
6. 黒丸 亮(道総研林業試験場)・田村 明・木村 徳志(東京大学北海道演習林)：エゾマツ種子のサイズと水選時間による発芽率のちがい，*日本森林学会大会講演要旨集* 124: P2-118、245, 3, 2013
7. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・阿部 正信・佐藤 亜樹彦・生方 正俊・佐藤 新一：カラマツ類の着花に影響する要因の検討，*北海道の林木育種* 55(1): 19-22, 2, 2013
8. 福田 陽子・半田 孝俊・那須 仁弥：北海道育種場内のアオダモ天然集団の開花周期と結実状況，*北海道の林木育種* 55(2): 19-22, 2, 2013
9. 玉城 聡・平尾 知士・宮下 久哉・宮下 智弘：GA4/7 を用いたアカマツへの着花促進処理の効果，*日本森林学会大会学術講演集* 124: 217, 3, 2013
10. 磯田 圭哉・玉城 聡・久保田 正裕・岡村 政則：関西育種基本区で選抜された少花粉ヒノキ品種の豊作年における雄花自然着花特性，*森林遺伝育種学会大会講演要旨* 1: 9, 11, 2012

05 採種園，その他無性繁殖

051 さし木，つぎ木，発根性等

1. 藤澤 義武・植田 守：林木育種の現場のABC (1) -クローン苗の養成技術-接ぎ木，*森林遺伝育種* 1(1):18-23, 10, 2012
2. 矢野 慶介・福田 陽子・田村 明・山田 浩雄・織田 春紀・阿部 正信・小園 勝利・佐藤 亜樹彦・那須 仁弥・生方 正俊：ヤナギ類における穂木の性質がさし木苗の生存率および成長量に及ぼす影響，*北方森林研究* 61: 53-54, 2, 2013
3. 磯田 圭哉：ヒノキ精英樹さし木苗の試験植栽-新たなさし木品種の開発に向けて-，*関西の林木育種* 70: 1-2, 3, 2013
4. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・高橋 誠：クロマツさし木に用いる萌芽枝

の齡が発根に及ぼす影響, 九州森林研究 66 : 81-83, 3, 2013

5. 千吉良 治・武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・湯浅 真・高橋 誠 : スギ精英樹交配家系から選抜された優良形質候補木のさし木発根性, 九州森林学会大会 68 : 605, 10, 2012
6. 千吉良 治・武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・高橋 誠 : スギ精英樹交配家系から選抜された優良形質候補木の挿しつけ後 200 日目のさし木発根率, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1 : 19, 11, 2012

052 組織培養

1. 谷口 亨・小長谷 賢一・栗田 学・高田 直樹 : スギの不定胚形成細胞の凍結保存, 日本植物細胞分子生物学会 (生駒) 大会・シンポジウム講演要旨集 30 : 157, 8, 2012
2. 谷口 亨・小長谷 賢一・栗田 学 : スギの不定胚形成細胞の超低温保存, 日本森林学会大会 124 : F26, 3, 2013
3. 石井 克明・細井 佳久・栗田 学・谷口 亨 : Recent research activity of conifer somatic embryos at FFPRI (森林総合研究所での最近の針葉樹不定胚研究), Proceedings Advances in Somatic Embryogenesis of Trees and Its application : 114-115, 4, 2012
4. Katsuaki Ishii, Naoki Takata, Ken-ichi Konagaya, Toru Taniguchi : Propagation *in vitro* of *Nothapodytes amamianus* an endangered medicinal tree (絶滅危惧薬用樹ワダツミノキの組織培養による増殖), The International Plant Propagators' Society Combined Proceedings 61 : 284-287, 10, 2012
5. Katsuaki Ishii, Naoki Takata, Toru Taniguchi : In vitro propagation of *Uncaria rhynchophylla* - a medicinal woody plant (薬用樹カギカズラの組織培養による増殖), International Conference of the IUFRO Working Party 2.09.02, 2 : S2-5P, 6, 2012
6. 大宮泰徳 : ブナ組織培養苗の大量増殖と馴化条件の検討, 日本植物生理学会年会講演要旨 54 : 298, 3, 2013

06 育苗・その他形質記録

061 育苗

1. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・阿部 正信・竹田 宣明・佐々木 洋一・佐藤 亜樹彦・大城 浩司・上田 雄介・織田 春紀・羽原 陽子・生方 正俊 : コンテナ育苗に適したエゾマツ家系の選抜の試み, 日本森林学会大会講演要旨集 124 : P1-122, 122, 3, 2013
2. 板鼻 直榮・千葉 信隆・玉城 聡 : 寒冷地におけるスギコンテナ苗の育苗, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1 : 31, 11, 2012
3. 玉城 聡 : ミニ林木育種事典「コンテナ苗」, 東北の林木育種 199 : 8, 6, 2012
4. 河合 慶恵 : 鉢植え苗の夏バテ対策, 関西育種場だより 70 : 4, 3, 2013

07 樹木園, 緑化樹及び広葉樹の育種

071 樹木園, クローン集植所

1. 高橋 誠・渡辺 敦史 (九州大学)・宮本 尚子 : SSR 遺伝子型データによるスギ精英樹クローンの類縁関係の解析, 九州森林学会大会 68 : 608, 10, 2012
2. 高橋 誠・渡辺 敦史 (九州大学)・宮本 尚子 : 核 SSR 分析から明らかにされた九州育種基本区のスギ精英樹の遺伝的關係, 森林遺伝育種学会大会 1 : 36, 11, 2012

072 広葉樹の育種

1. 山田 浩雄・磯田 圭哉・久保田 正裕：クヌギ実生採種園における家系内選抜の繰り返しと遺伝的多様性の変化，日本森林学会大会学術講演集 124：220，3，2013
2. 山田 浩雄：実生採種園での循環選抜と改良効果の実証による広葉樹の新たな育種法の提案，科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書、5pp，5，2012

08 森林保護技術と被害様式

081 気象害抵抗性育種（凍害，寒風害，雪害等）

082 病虫害抵抗性育種（昆虫害，病害等）

1. 井城 泰一・平尾 知士・渡辺 敦史（九大農）：海岸線を再生する抵抗性マツの開発，環境研究シンポジウム 10，10，2012
2. 平尾 知士・井城 泰一・渡辺 敦史：関東育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業，森林遺伝育種学会大会 1：29，11，2012
3. 赤見 亜衣（東京大学）・楠本 大（東京大学）・平尾 知士・渡辺 敦史（九州大学）・福田 健二（東京大学）：マツ材線虫病抵抗性クロマツにおける通水阻害進展過程，日本森林学会大会 124：M12，3，2013
4. 楠本 大（東京大学）・平尾 知士・渡辺 敦史（九州大学）・山田 利博（東京大学）：マツ材線虫病抵抗性クロマツと感受性クロマツの解剖学的比較，日本森林学会大会 124：M13，3，2013
5. 平尾 知士・渡辺 敦史：マツノザイセンチュウに対するクロマツの抵抗性機構の解明，季刊森林総研 20：14-15，2，2013
6. 山野邊 太郎・織部 雄一郎・板鼻 直榮：東北育種基本区産マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの開発，東北森林科学会大会講演要旨集 17：25，8，2012
7. 玉城 聡・岩泉 正和・磯田 圭哉：マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業における家系内選抜（一次検定）時の接種データとクローン検定（二次検定）時の生存率との関係，東北森林科学会大会講演要旨集 17：23，8，2012
8. 織部 雄一郎・山野邊 太郎：東北育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの開発，平成 24 年度林木育種成果発表会，1，2013
9. 山野邊 太郎・織部 雄一郎・千葉 信隆・山口 秀太郎・高倉 良紀・竹田 宣明・笠井 史宏（林野庁）：東北育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業－平成 23 年度の実施結果－，林木育種センター年報（平成 24 年版）：48-53，11，2012
10. 山野邊 太郎・織部 雄一郎：東北育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの開発，岩手県林業技術センター（独）森林総合研究所東北支所・林木育種センター東北育種場合同成果報告会（平成 24 年度），2，2013
11. 磯田 圭哉・杉本 博之（山口農林総セ）・岩泉 正和・坂本 庄生・岡村 政則・河合 貴之・松永 孝治：抵抗性アカマツ検定林における被害木伐倒駆除の効果，日本森林学会大会学術講演集 124：227，3，2013
12. 杉本 博之（山口農林総セ）・磯田 圭哉・富樫 一巳（東大院農）：抵抗性アカマツの系統間によるマツノマダラカミキリ成虫の後食量の比較，応用森林学会大会研究発表要旨集 63：33，

- 10, 2012
13. 岩泉 正和・磯田 圭哉・久保田 正裕・玉城 聡・山野邊 太郎：関西育種基本区における東北地方等マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業－京都府から選抜した抵抗性アカマツの選抜経過－，林木育種センター年報（平成 24 年版）：54-57，11，2012
 14. 倉本 哲嗣：第 2 世代のマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種の開発，林業改良普及双書 172（全林協）132：140，2，2013
 15. Koji Matsunaga・Mineko Ohira・Yuji Kurahara・Eitaro Fukatsu・Makoto Yuasa・Osamu Chigira・Makoto Takahashi・Hiroyuki Sugimoto（山口県農林技術センター）・Katsumi Togashi（東京大学）：Dynamics of pine wilt disease incidence in a mixed plantation of resistance and susceptible families of *Pinus densiflora* and *P. thunbergii*（アカマツとクロマツの抵抗性と感受性家系が植栽された試験地におけるマツ材線虫病の発生動態），3rd meeting of IUFRO Working Unit 7.03.12 "Alien invasive species and international trade, 6, 2012
 16. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・高橋 誠：クロマツ実生苗におけるマツノザイセンチュウ抵抗性の発現に及ぼす光環境の影響，日本森林学会大会 124：88，3，2013
 17. 松永 孝治・大平 峰子・倉原 雄二・武津 英太郎・湯浅 真・千吉良 治・高橋 誠・磯田 圭哉・杉本 博之（山口県農林技術センター）、富樫 一巳（東京大学）：九州地域の現地適応試験地における抵抗性マツ家系のパフォーマンス評価，森林遺伝育種学会大会 1：22，11，2012
 18. 恒川 佳世（名古屋大学）・松永 孝治・梶村 恒（名古屋大学）：電気インパルスがクロマツ苗木およびマツノザイセンチュウの生残に与える影響，日本森林学会大会 124：228，3，2013
 19. 松永 孝治：九州地域におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種-今後のマツ林保護に向けて-，九州地域研究発表会（平成 24 年度），11，2012
 20. 松永 孝治：九州地域におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業の展開，九州森林技術開発協議会（平成 24 年度），3，2013
 21. 松永 孝治：九州地域におけるマツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発，森林総合研究所九州地区研究評議会（平成 24 年度），2，2013

083 耐やせ地性等

1. 眞山 寿里（信州大学）・田村 明・安江 恒（信州大学）：北海道で生育した産地の異なるブナの年輪幅・年輪内密度およびその変動と気候応答，木材学会大会講演要旨集 63：B27-06-1515，3，2013

09 育種材料の特性

091 総合特性（成長，形態等）

1. 加藤 一隆：テリハボク（*Calophyllum inophyllum*）の開花フェノロジーと花粉の発芽率，日本森林学会講演要旨集 124：220，3，2013
2. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・平岡 裕一郎・高橋 誠：Forward Selection における成長形質の個体評価法の比較とその効果の検証，森林遺伝育種学会 1：40，11，2012

092 成長

093 材質（心材色を含む）

1. 宮下 久哉：要因交配により設計されたスギ育種集団林における密度の遺伝性，日本木材学会大会研究発表要旨集 63：12，3，2013
2. 宮下 久哉・星 比呂志・織部 雄一郎：東北育種基本区東部育種区における材質優良品種の開発，林木育種センター年報（平成 24 年版）：25，19-21，10，2012
3. 井城 泰一・三嶋 賢太郎・渡辺 敦史（九大農）：応力波伝播速度およびピロディン陥入量の季節変動，関東森林学会大会講演要旨 2：43 番，10，2012
4. 井城 泰一・藤本 高明（鳥大農）・平岡 裕一郎・藤澤 義武・渡辺 敦史（九大農）：近赤外分光法によるスギの晩材仮道管 S2 層マイクロフィブリル傾角の推定，木材学会大会研究発表要旨集 63：B28-P-AM04，3，2013
5. 井城 泰一・三嶋 賢太郎・石栗 太（宇大農）・平岡 裕一郎・三浦 真弘・渡辺 敦史（九大農）：スギ次世代化に向けた材質形質の遺伝性評価，日本森林学会大会講演要旨集 124：L01，3，2013
6. Yoshio Kijidani（宮崎大学）・Noriko Sakai（宮崎大学）・Keita Kimura（宮崎大学）・Yoshitake Fujisawa・Yuichiro Hiraoka・Junji Matsumura（九州大学）・Shinya Koga（九州大学）：Termite resistance and color of heartwood of hinoki (*Cahmaecyparis obtusa*) trees in 5 half-sib families in a progeny test stand in Kyushu, Japan.（九州の次代検定林におけるヒノキ半兄弟家系 5 家系の耐蟻性と心材色について），Journal of Wood Science 58(6)：471-478，10，2012
7. Ryogo Nakada：Characterising *Larix kaempferi* among conifers in heartwood property.（カラマツの心材の性質を針葉樹の中で特徴づける），Larix 2012: Larch in a warm climate Abstracts 14，9，2012
8. 田邊 純（宇都宮大学）・田村 明・佐藤 桂太（宇都宮大学）・石栗 太（宇都宮大学）・飯塚 和也（宇都宮大学）・横田 信三（宇都宮大学）・吉澤 伸夫（宇都宮大学）：アカエゾマツ精英樹家系の木材性質，日本木材学会大会講演要旨集 63：B27-06-1030，3，2013
9. 織部 雄一郎・小林 義裕（宮崎大学）・雉子谷 佳男（宮崎大学）：道管形成と冬芽萌芽前後の形成層帯における IAA 量の変動，東北森林科学会大会講演要旨集 17：60，8，2012
10. 織部 雄一郎・Begum Shahanara（バングラデシュ農大・東京農工大学）・船田 良（東京農工大学）：気温が年輪形成の再開に及ぼす影響－樹幹を局部的に加温してわかってきたこと－，樹木年輪研究会(2012)：7，11，2012
11. 織部 雄一郎：形成層帯の休眠打破期の前後に局部加温処理を施した冷温帯に生育する常緑針葉樹（スギ）の樹幹部における木部形成，日本木材学会大会講演要旨集 63：113，3，2013
12. 桑山 明希（信州大学）・織部 雄一郎・安江 恒（信州大学）：カラマツ樹幹局所的冷却処理による形成層活動への影響，樹木年輪研究会(2012)：8-9，11，2012
13. 桑山 明希・安江 恒（信州大学）・織部 雄一郎：カラマツ樹幹の局所的冷却処理による活動停止時期の形成層活動への影響，日本木材学会大会講演要旨集 63：114，3，2013
14. 春日 純・高橋 大輔（岩手大学）・織部 雄一郎：春季にセイヨウハコヤナギの枝で起こるタンパク質変動のショットガンプロテオーム解析，日本木材学会大会講演要旨集 63：9，3，2013
15. 工藤 佳世・鍋嶋 絵里・山岸 祐介・半 智史（東京農工大学）・Begum Shahanara（バングラデシュ農大）・織部 雄一郎・船田 良（東京農工大学）：休眠期の落葉性広葉樹環孔材コナ

- ラ苗木に対する樹幹への局所的加温処理および摘芽処理が孔圏道管形成に与える影響, 日本木材学会大会講演要旨集 63 : 2, 3, 2013
16. 玉城 聡: ミニ林木育種事典「FAKOPP」, 東北の林木育種 200 : 8, 10, 2012
 17. 有吉 邦夫(鳥取農総研林試)・森田 浩也(鳥取農総研林試)・磯田 圭哉・植田 幸秀(鳥取県造林公社): ヒノキの強度特性における遺伝力の推定, 日本森林学会大会学術講演集 124:175, 3, 2013
 18. 森田 浩也(鳥取農総研林試)・有吉 邦夫(鳥取農総研林試)・柴田 寛(鳥取農総研林試)・桐林 真人(鳥取農総研林試)・川上 敬介(鳥取農総研林試)・磯田 圭哉・岩泉 正和・玉木 勝美(智頭町森林組合)・植田 幸秀(鳥取県造林公社)・倉本 一紀(鳥取県): さし木ヒノキの強度性能と遺伝的組成に起因する変動の安定, 日本木材学会大会研究発表要旨集 63 : 3, 3, 2013
 19. 武津 英太郎、松永 孝治、倉原 雄二、千吉良 治、高橋 誠: ヒノキ材密度の簡易推定精度および材密度と成長形質との遺伝的関係の検討, 九州森林研究 66 : 13-16, 3, 2013
 20. 倉原 雄二・藤本 登留(九州大学大学院): 引っ張り試験による2年生スギのヤング率測定, 日本木材学会大会研究発表要旨集 63 : B28-P-AM09, 3, 2013
 21. 倉原 雄二・松永 孝治: 苗畑に植栽した2年生スギクローンの応力波伝播速度を指標とした材質形質の早期選抜の検討, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1 : 21, 11, 2012
 22. 倉原 雄二・武津 英太郎・松永 孝治・千吉良 治・高橋 誠・藤本 登留(九州大学大学院)・白石 進(九州大学大学院): 第二世代スギ精英樹候補木の若齢スギクローンの立木状態における応力波伝播速度の比較, 九州森林学会大会 68 : 606, 10, 2012
 23. 武津 英太郎・田村 明・福田 陽子・渡辺 敦史(九州大学)・井城 泰一・中田 了五: カラマツ産地試験における年輪幅と材密度の変動と産地間差, 樹木年輪研究会(2012): 36, 11, 2012

094 抵抗性

095 その他

1. 坪村 美代子・中村 博一(群馬県)・市村 よし子(茨城県)・伊藤 美和子(埼玉県)・原口 雅人(埼玉県)・齋藤 央嗣(神奈川県)・渡辺 敦史(九州大学): 少花粉スギ品種の選抜とその特性, 日本森林学会大会 124 : K15, 3, 2013
2. 花岡 創・中和 範雄・加藤 一隆: テリハボクの耐塩性の検証, 平成24年度亜熱帯森林・林業研究会論文集: 8-22, 2, 2013
3. 花岡 創・中和 範雄・加藤 一隆: テリハボクの耐塩性の検証一実生の初期生長に対する塩水の影響, 森林遺伝育種学会講演要旨集 1 : 43, 11, 2012
4. Yoko Goto-Fukuda・Akemi Saito(国立病院機構相模原病院臨床研究センター)・Miyoko Tsubomura・Teiji Kondo: The genetic variation of Cry j 1, a major allergen from Japanese cedar pollen, among Japanese cedar plus trees (スギ精英樹における主要花粉アレルゲン Cry j 1 の遺伝的変異), Proceedings of International Palynological Conference, 8, 2012
5. 折橋 健(道林産試)・安久津 久(道林産試)・福田 陽子・矢野 慶介: バイオマス利用に適したヤナギ優良品種の選抜に向けた含有成分量の検討, 日本木材学会北海道支部講演集 44 : 44-47, 11, 2012

6. 山野 遼太郎・福田 友之：積雪地におけるクロマツのさし木発根条件の検索，日本森林学会大会学術講演集 124：221，3，2013
7. 大宮泰徳：ブナ種子の長期保存方法の開発に向けた種子採取の近況，みどりの東北 106：6，1，2013

10 遺伝資源

101 収集，保存

1. 生方 正俊・栗田 祐子・平井 郁明・板鼻 直栄：絶滅危惧種オガサワラグワの生息域外での種子生産，関東森林学会大会講演要旨集 2：40，10，2012
2. 生方 正俊・黒丸 亮（道総研林試）・田村 明・板鼻 直栄：植栽場所によるカラマツ種子の成熟時期の違い，森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1：19，11，2012
3. 生方 正俊・田村 明・板鼻 直栄・黒丸 亮（道総研林試）・長谷部 辰高・大久保 典久・佐藤 新一：カラマツ種子の成熟時期の年次間差，日本森林学会大会講演要旨集 124：174，3，2013
4. 大谷 雅人：希少植物保全の取り組みについて，シンポジウム「エゾヒョウタンボクを知っていますか？ -新潟県のエゾヒョウタンボクの希少性とその保全-」講演要旨，1，2013
5. 大谷 雅人、生方 正俊、板鼻 直栄、谷 尚樹（国際農林水産業研究センター）、吉丸 博志：小笠原固有の希少樹種オガサワラグワの系統保存集団の遺伝的評価，日本生態学会大会講演要旨集 60：W15，3，2013
6. 生方 正俊・長谷部 辰高・大久保 典久：希少樹木講座 I：関東・中部地方における希少樹木の保全，樹木医学研究 17(1)：16-20，3，2013
7. 岩泉 正和・磯田 圭哉・笹島 芳信・山口 和穂・河合 慶恵：石鎚山から採種したシコクシラベ種子の発芽特性，応用森林学会研究発表会要旨集 63：47，10，2012

102 分類，同定，評価

1. Ryogo Nakada・Eitaro Fukatsu：Seasonal variation of heartwood formation in *Larix kaempferi*. （カラマツの心材形成の季節変動），Tree Physiology 32(12)：1497-1508，12，2012
2. Masato Ohtani・Toshiaki Kondo（広島大学）・Naoki Tani（国際農林水産業研究センター）・Saneyoshi Ueno・Leong S. Lee (FRIM)・Kevin K. S. Ng (FRIM)・Norwati Muhammad (FRIM)・Reiner Finkeldey (Georg-August University of Göttingen)・Mohamad Na'iem (Gadjah Mada University)・Sapto Indrioko (Gadjah Mada University)・Koichi Kamiya（愛媛大学）・Ko Harada（愛媛大学）・Bibian Diway (Forest Department Sarawak)・Eyen Khoo (Sabah Forestry Department)・Kensuke Kawamura（愛媛大学）・Yoshihiko Tsumura：Nuclear and chloroplast DNA phylogeography reveals Pleistocene divergence and subsequent secondary contact of two genetic lineages of the tropical rainforest tree species *Shorea leprosula* (Dipterocarpaceae) in Southeast Asia. （フタバガキ科樹種ショレア・レプロスラの2つの種内系統の更新世における分化と二次的接触：核および葉緑体の系統地理データによる検証），Molecular Ecology 22：2264-2279：Pa188，3，2013
3. 中田 了五・岡田 直紀（京都大学）・中井 毅尚（島根大学）・黒田 克史：シラカンバ産地

- 試験地における開葉フェノロジーの系統間変異，針葉樹の wetwood 形成時の心材への水分の再侵入における水移動の駆動力としての木部水ポテンシャル：日本木材学会大会要旨集 63：A27-01-0915, 3, 2013
4. 宮下 智弘（山形県森林研究研修センター）・生方 正俊・栗田 祐子：スギ冷凍保存種子の発芽に対するジベレリンの影響，日本森林学会大会講演要旨集 124：219, 3, 2013
 5. 石井 潤（東京大学）・大谷 雅人・齋藤 均（黒松内町）・鷺谷 いづみ（東京大学）：人工衛星 ALOS を用いた北限域のブナ林のモニタリング手法の開発，日本生態学会大会講演要旨集 60：P2-358, 3, 2013
 6. 矢野 慶介・岩泉 正和・大谷 雅人・平岡 宏一・宮本 尚子・山田 晋也（静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター）・小谷 次郎（石川県農林総合研究センター林業試験場）・武津 英太郎・高橋 誠・生方 正俊：核 SSR マーカーを用いた日本のケヤキ集団における地理的遺伝構造の把握，日本森林学会大会学術講演集 124：175, 3, 2013
 7. Masakazu G. Iwaizumi・Makoto Takahashi：Effects of pollen supply and quality on seed formation and maturation in *Pinus densiflora*. （アカマツの種子形成と充実に受粉の有無と花粉の質がおよぼす影響），Journal of Plant Research 125：517-525, 7, 2012
 8. 岩泉 正和・渡辺 敦史（九州大学）・逢沢 峰昭（宇都宮大学）・後藤 晋（東京大学）：エゾマツにおける SSR マーカーの整備状況，森林遺伝育種学会講演要旨集 1：8, 11, 2012
 9. 岩泉 正和・磯田 圭哉・笹島 芳信・久保田 正裕・大谷 雅人・那須 仁弥：固有種シコクシラベの SSR マーカーに基づく遺伝的変異の評価：本州シラベ精英樹との比較，日本生態学会大会講演要旨集 60：251, 3, 2013
 10. 岩泉 正和・大谷 雅人・那須 仁弥・平岡 宏一・高橋 誠：アカマツ散布種子の景観スケールでの遺伝的異質性－雌性配偶体を利用した配偶子レベルでの解析－，日本森林学会大会学術講演集 124：179, 3, 2013
 11. 岩泉 正和：アカマツの地理的変異－DNA マーカーに基づく遺伝変異と繁殖形質の変異－，林木育種情報 10：6-7, 7, 2012
 12. 岩泉 正和：アカマツの樹冠内での着果パターン，関西育種場だより 69：2, 11, 2012

103 情報管理

1. 高橋 誠・千吉良 治：熊本うまれのヤクタネゴヨウの苗木が屋久島に里帰り，九州育種場だより 26：4, 1, 2013

11 天然林等の育種

111 天然林の育種

1. 大谷 雅人・岩泉 正和・矢野 慶介・宮本 尚子・平岡 宏一・那須 仁弥・高橋 誠：阿武隈山地のモミ天然林における花粉と種子を介した遺伝子流動パターンと種子散布量の関係，日本生態学会大会講演要旨集 60：P2-105, 3, 2013
2. 平岡 宏一・大谷 雅人・那須 仁弥・岩泉 正和・高橋 誠：群馬県片品村武尊山のシラカンバ林木遺伝資源保存林における遺伝的多様性の評価，森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1：ポスターNo.13, 11, 2012
3. 平岡 宏一・大谷 雅人・宮本 尚子・那須 仁弥・生方 正俊・岩泉 正和・宮下 智弘・高橋 誠：DNA マーカーを用いたカバノキ属の広域分布樹種シラカンバとダケカンバの日本における地

1 1 2 複層林の育種

1 2 外国樹種の育種

1 2 1 外国樹種の育種

1. 栗延 晋・千吉良 治・三浦 真弘・松根 健二：熱帯産早生樹ファルカタの樹高成長に及ぼす植栽密度の影響と産地による反応の違い：日本森林学会大会要旨 124 : P2-014, 3, 2013
2. Kazutaka KATO・Shustaro YAMAGUCHI・Osamu CHIGIRA・Naoki OSAKA・：Flowering phenology and germination ability of pollens for *Acacia mangium* and *A. auriculiformis*. (アカシア・マンギウムとアカシア・アウリカリフォルミスの開花フェノロジーと花粉の発芽能力), *Silvae Genetica*66 : 228-235, 12, 2012
3. Hanaoka So・Gabriel M Muturi (Kenya Forestry Research Institute)・Atsushi Watanabe (九州大学) : Isolation and characterization of microsatellite markers in *Melia volkensii* Gurke. (*Melia volkensii* のマイクロサテライトマーカーの単離と特徴付け), *Conservation Genetics Resources*4 : 395-398, 6, 2012
4. 加藤 一隆・千吉良 治・山口 秀太郎・久保田 正裕：人工交配によって創出されたアカシア・ハイブリッドの野外植栽後の枯損率及び樹高－全兄弟及び半兄弟間の差異－, 森林遺伝育種学会講演要旨集 1 : 7, 11, 2012
5. 加藤 一隆・千吉良 治・山口 秀太郎・久保田 正裕：人工交配によって創出されたアカシア・ハイブリッドの野外植栽後の全兄弟及び半兄弟間の枯損率及び樹高の差異, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 65-68, 11, 2012
6. 加藤 一隆・千吉良 治・山口 秀太郎：アカシア・マンギウム及びアカシア・アウリカリフォルミスの開花習性調査, 林木育種センター年報 (平成 24 年版) : 69-72, 11, 2012
7. 三浦 真弘・平岡 裕一郎：海外林木育種事情調査報告－アメリカ合衆国南東部－, 林木育種情報 10 : 4-5, 7, 2012
8. 三浦 真弘・平岡 裕一郎：海外での次世代化の取り組みについて－アメリカ合衆国南東部－, 北海道の林木育種 55(2) : 9-14, 7, 2012
9. 田村 明：フィンランドの研究者が来場しました, 野幌の丘から 180 : 4, 2, 2013
10. 山口 和穂：赤道の不思議 1 年が 2 年?, 関西育種場だより 66 : 3, 11, 2011
11. 山口 和穂：熱帯の不思議, 関西育種場だより 67 : 2, 3, 2012
12. 千吉良 治・濱本 光：西表島に植栽した *Eucalyptus camaldulensis* Dehnh. の植栽 50 ヶ月目までの成長と生存率の産地間差, 九州森林研究 65 : 89-92, 3, 2012
13. 千吉良 治・栗延 晋：異なる植栽密度で植栽した 9 種子産地のファルカタ (*Albizia falcataria*) の植栽 6 年目までの直径成長とピロディン貫入値の推移, 第 123 回日本森林学会大会 : Pb032, 3, 2012
14. 千吉良 治・濱本 光：西表島に植栽した *Eucalyptus camaldulensis* Dehnh. の植栽後 4 年目までの成長と生存率の系統間差, 林木の育種 239 : 18-21, 4, 2011

1 2 2 海外の林木育種技術協力

1. 田村 明：フィンランドの研究者が来場しました, 野幌の丘から 180 : 4, 2, 2013

1 3 会議報告

1. 加藤 一隆：太平洋共同体事務局（SPC）との共同研究について，林木育種情報 10：8-9，10，2012
2. 石井 克明：チェコで開催された IUFRO 体細胞胚培養と栄養繁殖技術の国際会議の概要，森林遺伝育種 1：37-40，12，2012
3. 石井 克明：チェコ共和国で開催されたユフロ体細胞胚培養とその他の栄養繁殖技術 (Working Party 2.09.02) 国際集会の概要，IUFRO-J News107：6-9，11，2012
4. 石井 克明：国際植物増殖者会議 2012 国際視察ツアー概要，IPPS-J ニュースレター48：2-3，11，2013
5. 高田 直樹：ドイツで開催された国際会議（Plant Biology Congress Freiburg 2012）の概要，森林遺伝育種 2：37-40，1，2013
6. 河合 慶恵：第 63 回応用森林学会に参加して，関西育種場だより 69：3，11，2012
7. 高橋 誠：韓国で開催された国際シンポジウムに参加して，九州育種場だより 25：7，7，2012

1 4 プログラム開発

1 4 1 プログラム開発

1 4 2 データベース作成

1 5 その他

1. Suharyanto (Arara-Abadi Sinarmas Forestry)・Mine Nose・Susumu Shiraishi (九州大学)：Development and application of a multiplex SNP system to evaluate the mating dynamics of *Pinus thunbergii* clonal seed orchards. (クロマツ採種園の交配ダイナミクス解析のための SNP 開発とその利用)，Molecular Breeding30：1465-1477，5，2012
2. Mine Nose・Masahiro Miura・Atsushi Watanabe (九州大学)：A strategy for genetic analysis of height growth in Japanese cedar (スギの伸長成長における遺伝子研究戦略)，Plant and Animal Genome XXI、P0465，1，2013
3. 能勢 美峰・渡辺 敦史 (九州大学)：スギの概日リズムに関する遺伝子発現解析 IV，日本植物生理学会年会 54：PF047，3，2013
4. Manabu Kurita・Ken-ichi Konagaya・Atsushi Watanabe (九州大学)・Teiji Kondo・Katsuaki Ishii・Toru Taniguchi：The promoter of an A9 homolog from the conifer *Cryptomeria japonica* imparts male strobilus-dominant expression in transgenic trees. (スギの A9 ホモログのプロモーターは組換え樹木の雄花で強く発現する)，Plant Cell Reports32：319-328，2，2013
5. 栗田学・小長谷賢一・渡辺敦史 (九州大学)・近藤禎二・石井克明・谷口亨：スギの雄花特異的に発現する遺伝子のプロモーターの機能解析，森林遺伝育種学会大会講演要旨集 1：48，11，2012
6. Manabu Kurita・Ken-ichi Konagaya・Atsushi Watanabe (九州大学)・Toru Taniguchi：Isolation And Functional Analysis Of The Male Strobilus-Specific Promoters Of *Cryptomeria japonica* For Development Of The Male Sterility System (雄性不稔化に向けたスギ雄花

- 特異的プロモーターの単離と機能解析), Abstract of the Annual Meeting of JSPP 2013、P184, PF112 (0587), 3, 2013
7. 坪村 美代子・武津 英太郎・井城 泰一・三嶋 賢太郎・渡辺 敦史(九州大学): アソシエーション解析に向けた関東スギ精英樹の雄花着花量評価手法の開発, 森林遺伝育種学会大会 1: 38, 11, 2012
 8. 栗田 学: 林木育種における DNA 分析技術(7)-遺伝子単離(2)-, 林木育種情報 10: 11, 7, 2012
 9. 栗田 学: 林木育種における DNA 分析技術(8)-発現解析-, 林木育種情報 11: 12, 1, 2013
 10. 栗延 晋: 私の協会活動, 林木の育種 245: 41, 10, 2012
 11. 半 智史(東京農工大学)・森本 光(東京農工大学)・中田 了五・今井 貴規(名古屋大学)・船田 良(東京農工大学): 細胞死誘導系を用いたスギおよびカラマツ放射柔細胞の細胞死過程の経時的解析, 日本木材学会大会要旨集 63: A27-01-0930, 3, 2013
 12. 森本 光(東京農工大学)・半 智史(東京農工大学)・中田 了五・船田 良(東京農工大学): スギの傷害心材形成過程に伴う木部柔細胞の細胞死過程に関する研究, 日本木材学会大会要旨集 63: A28-P-AM06, 3, 2013
 13. 大谷 雅人: 小笠原の植物紹介, 林木育種情報 10: 12, 7, 2012
 14. 加藤 一隆: 研究室訪問シリーズ(17) -森林総合研究所林木育種センター西表熱帯林育種技術園-, 林木の育種 243: 29-32, 4, 2012